

新型コロナウイルス感染症のために不安を抱える

児童生徒・保護者を支える教職員のみなさまへ

～児童生徒・保護者のココロの健康を保つためにできること～

感染症の広がりによって自粛を強いられたり行動が制限されたりすると、児童生徒や保護者には次のような様々な感情が生じることがあります。

〈児童生徒〉

- 自分の体調や進路などについて悪い方に考えてしまい、心配になったり恐怖を感じたりする
- 友人などとの交流が制限されて寂しいと思う
- 何となくイライラしたり怒りっぽくなったりする
- 保護者がイライラしていて家にいたくないと思う

〈保護者〉

- 子どもの体調や進路などについて心配になる
- 子どもの学習機会が減り、学力低下につながるのではないかと不安になる
- 学校からの情報が少なくて不安になる
- 子どもに対してマイナスの感情を持ってしまう

では、不安を抱える児童生徒や保護者を、どのように支えていけばよいのでしょうか？



【 積極的に取り組むこと 】

- 児童生徒や保護者の話をよく聞く（傾聴）
- 児童生徒や保護者の不安な気持ちを受け止める（受容）
- 可能な限り児童生徒と連絡を取り、体調面や学習状況など困ったことがあれば一緒に考える姿勢で相談に応じる
- 学校のホームページなどで、こまめに情報提供する

【 避けた方がよいこと 】

- 児童生徒や保護者に対し一方的な指導や伝達ばかりしてしまう
- 児童生徒や保護者からの連絡を待つ姿勢のみになる（学校への連絡をためらう保護者は意外と多い）



学校には、不安を抱える児童生徒や保護者の気持ちに寄り添い支えていくことが求められています。

常に子どもたちのことを「大切に思っている」という姿勢で接していきましょう。